

# 自然と共生する — 守谷野鳥のみちの魅力 —



▲鳥のみちバルコン広場付近から下流域を望む

広報もりや平成30年12月25日号で開業のお知らせをした「守谷野鳥のみち」。長さ約720メートルにわたる木道や案内板は、歩く人を、時間がゆったりと流れる緑の空間へと導いてくれます。「守谷野鳥のみち」を中心となって整備してきたのは、市民団体「守谷市観光協会」と「守谷野鳥のみち自然園」のボランティアの皆さんです。

今回は、この2つの団体の会長を務める作部屋義彦さんにお話を伺いました。



守谷市観光協会  
守谷野鳥のみち自然園  
会長 作部屋義彦さん

## 鳥のまち産ヒノキ材の木道

総延長4キロメートル「守谷野鳥のみち」のうち、「鳥のまち」にあたる旧丸太道720メートルを、歩きやすい木道に更新しました。県北産のヒノキ材を使った幅1.4メートルの木道は、市民ボランティア「守谷市観光協会」と「守谷野鳥のみち自然園」のメンバーで国内外の観光地の木道を参考に、風格のある質の高いものを目指して製作してきました。



## 中学校・企業との協働

木道への更新作業は平成29年12月から着工。産地から自分たちでヒノキ原木を運び、1本1本厚板を削り出す木工作业や、水路の石垣積み、各種案内板の設置なども含めて、1年間で完成させることができました。野鳥の森少年団（愛宕中学校全校生徒）にも樹皮むきや防腐剤塗装、現場整理などに協力していただき、活躍してくれました。協力企業や市職員もかんな削りや輸送に協力するなど、本格的な協働作業となりました。



▲ドローンで空撮した「鳥のみち」。愛宕谷津から城址へと大規模な緑の中に溶け込んで行く散歩道を、空を飛ぶ野鳥の目線でたどった。

## 守谷の未来を見つめて

元々は、市の中心市街地にある大規模な緑と、市最大の歴史遺産である守谷城址を散歩道で結び、鳥と共生することで自然の尊さを学び、守り、育て、守谷をより住みよいまちにしようという思いからスタートしたプランでした。

守谷の未来のあるべき姿を見つめて、その進路づくりへの貢献として「木道更新」に舵を切ったのは、「守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を読んで考えついたボランティアのメンバーでした。

今後、人口減少が進むといわれる中で、新しい魅力を創出し、積極的な人口減対策を推進して、まちの若返りで安定成長を図るのが、総合戦



略では住みよいまち守谷の未来の姿とされています。今回の「守谷野鳥のみち」プロジェクトがそれに大きく貢献し、他の分野でも新しい動きが

生まれるきっかけになればと考えました。



## 「守谷野鳥のみち」を生かす

守谷市の最大の魅力は、これまで積み上げてきた住みよいまちづくりへの取組成果と、地域の資産であるまとまった緑だと思えます。緑地の中でも「守谷野鳥のみち」帯は、保存していくべき貴重な自然で、守谷の財産です。「守谷野鳥のみち」という形となったこの緑の拠点をうまく活用し、市の各分野の展開に利用して、守谷の未来を支えていくことになってほしいと思います。

「守谷野鳥のみち」を楽しく歩いた方が、少しでも「自分たちのまちを住みよくしたい」という思いを持ってくださったら嬉しく思います。

## ルールを守って楽しんで

この事業に協力するつくばエクスプレス（TX）には、12月中旬から1カ月間、車両内に中吊り広告を提供していただいています。その効果もあって、東京方面や同沿線からの利用者も増え、自然の中の散歩道として大変好評です。

工事が済むのを待ちかねていた近隣の人々、孫から聞いて毎日が楽しみと杖をついてこられた高齢の方、早速歩きに来たという幼稚園児たち、足元に気にならず野鳥観察ができると思いでいる野鳥観察グループ、健康づくりに毎日歩きに来るといふ人など、多くの方が訪れています。

禁煙やごみを持ち帰るなど、案内板に書いてあるルールを守り、ぜひ野鳥の声、守谷の自然を楽しんでください。



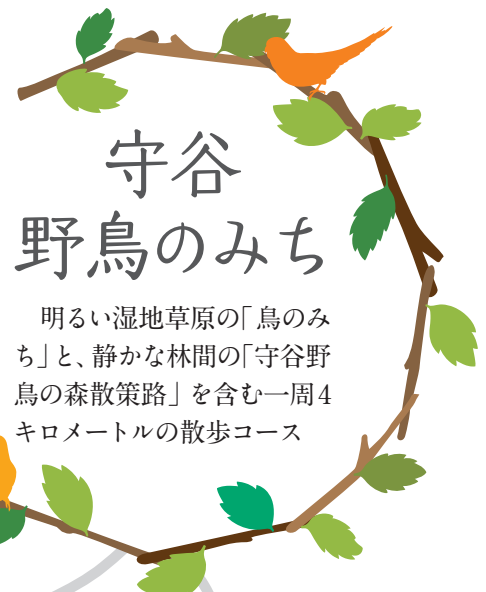
▲TX車内に掲示された中吊り広告



鳥のみち



守谷野鳥の森散策路



# 守谷 野鳥のみち

明るい湿地草原の「鳥のみち」と、静かな林間の「守谷野鳥の森散策路」を含む一周4キロメートルの散歩コース



〒 郵便局	⌄ 寺	★ 各出入口(歩行者)
⊗ 学校	⌄ 神社	🟢 守谷野鳥の森散策路
P 駐車場	⊕ 病院	🟠 鳥のみち
🚏 バス亭	🟢 守谷野鳥のみちエリア	

### アクセス

市ホームページ

- 徒歩** ① 守谷駅八坂口～愛宕中学校正門前経由～守谷野鳥の森散策路中央北口(徒歩約30分)  
② 関東鉄道常総線南守谷駅～守谷野鳥の森散策路愛宕南口(徒歩約10分)
- バス** 守谷駅東口広場：関東鉄道バス取手駅西口行き・守谷小学校入口下車(徒歩約5分)
- 車** 市道郷州沼崎線沿い守谷小学校近くに標識あり「鳥のみち無料専用駐車場」(パルコン入口まで徒歩約3分)



木材を運んだり、防腐剤を塗ったりという作業で活躍した愛宕中学校の皆さん。この活動について振り返ってもう一つ、「他の学校ではできない経験ができた」「地域の異なる世代の方と話ができてよかった」と、自分のためにもなったようでした。「自分の住まいの近くに、これほどの緑があるとは知らなかった」という生徒もいれば、「小さい頃おばあちゃんと旧丸太道を散歩した場所」と思い出を振り返る生徒も。小学生のときにも、丸太道におが屑を敷くなど、作業を手伝ったこともあるそうです。

これからの守谷野鳥のみちについて聞かれると、「自然の姿のままできてほしい」と、身近な緑を大切に思っているようでした。最後に、整備にあたってきたボランティアの皆さんについて、「このような自然があることを知らなかったので、感謝しています。今後、自分にも何かボランティアで、できることがあればしてみたい」と話してくれました。

また、高校での研究テーマに木道を取り上げ、そのお父さんも作業に加わったという卒業生もいるそうです。

愛宕中学校の皆さんに話を聞きました！





季節によって  
 こんな鳥たちが  
 見られます

オオタカ  
 カフセミ  
 ヤマガラ  
 サシバ  
 ルリビタキ



「守谷野鳥のみち」誕生まで

- 平成13年 ・市民ボランティア、市職員でプラン作成
- 平成14年 ・市内小中学生も参加して森の清掃活動開始
- 平成18年 ・守谷市観光協会「野鳥の森プロジェクト」始動
- 平成18年 ・愛宕中学校全校生徒による「野鳥の森少年団」結成
- 平成23年 ・守谷野鳥の森散策路全5ルート2.5キロメートル完成
- 平成27年 ・鳥のみち（丸太道など）1.5キロメートル完成
- 平成29年 ・つくばエクスプレスとの連携  
 ・市民団体と市との地方創生推進協働事業として、木道整備などを開始
- 平成30年 ・民間整備団体「守谷野鳥のみち自然園」設立  
 ・鳥のみちの主要部を板敷に全面更新  
 ・総称「守谷野鳥のみち」総延長4キロメートルとして新発定

▼問合せ先

＜守谷野鳥の森＞に関するお問い合わせ先

市役所経済課内 守谷市観光協会事務局  
 商工観光G 内線269  
 ※土・日曜日、祝日 作部屋  
 ☎090・8170・1898

＜記事に関するお問い合わせ先＞

市役所企画課 内線332  
 市役所秘書課 内線322